
巧妙になる市民監視
私たちの対抗アクションは？

- ◆お話し 小倉利丸さん（盗聴法に反対する市民連絡会）
- ◆運動の現場から
 - ★共通番号いらないネット（共通番号・カードの廃止をめざす市民連絡会）
原田富弘さん
 - ★すべての基地に NO を！ファイト神奈川
木元茂夫さん・星野潔さん
 - ★共謀罪、盗聴法などの運動体から

-
- ◆日時：2019年1月12日（土） 15時30分～18時
 - ◆会場：かながわ県民センター301号室
 - ◆資料代 500円
 - ◆主催：監視社会を考える1.12集会実行委員会
盗聴法に反対する市民連絡会
共通番号いらないネット
住基ネットに「不参加」を！横浜市民の会

共謀罪、秘密保護法、盗聴法改悪、共通番号制と監視立法が次々に成立しました。
2019年5月には天皇代替わり、2020年には東京オリンピックが開催されますが、テロ対策の強化を名目にこれらの監視立法が私たち、市民活動の様々な自由（集会・結社の自由）を脅かすようになってきました。

特に、共謀罪の成立を踏まえて、こうした監視への対抗手段、私たちがやれる市民のためのサイバーセキュリティなど、海外のアクティビストの実例などを紹介しながら、「仲間のセキュリティを守る」「市民みんなのセキュリティを守る」ことを通じて、言論・表現の自由や人権の確保を目指すために何をしたらいいのかを考えたいと思います。

一方、私たちが日常生活のなかでスマホや家電が便利なツールとして「安心・安全」のための監視機能を担うようになり、市民一人ひとりが監視する側にもなっていると思います。私たちの運動を広げていくために欠かせない、ケイタイやパソコンなどのコミュニケーションの道具の見直しから実践することも大切なライフスタイルの変革になるはずです。

ご一緒に考えてみませんか。

=====